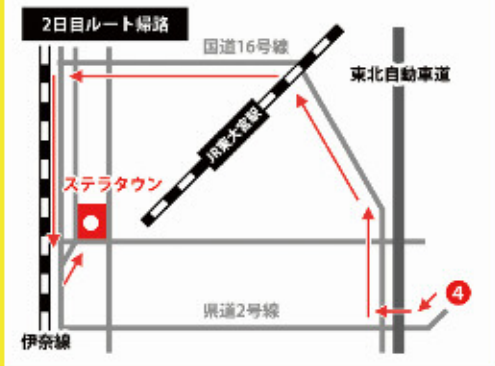
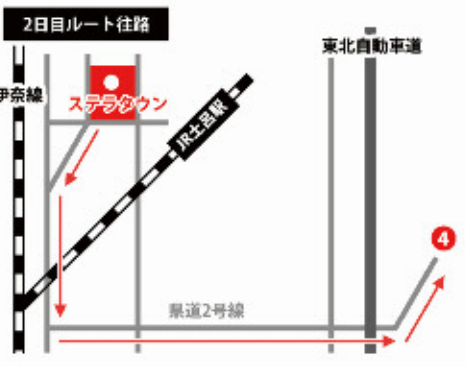
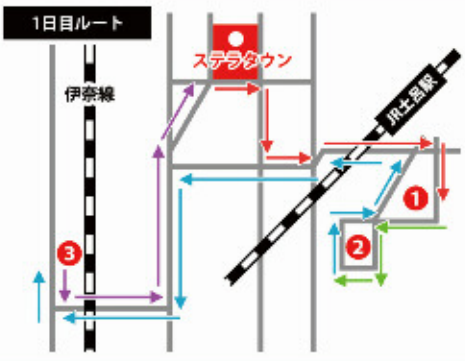


# EVENT-ROUTE

※天候など諸事情によりスケジュールや内容を変更する可能性があります。



## 3月5日(土) 移動ルート

- 13:00ステラタウン集合(14:00出発)
- ①14:30さいたま市大宮盆裁美術館着(15:20発)→
- ②15:30さいたま市立漫画会館(通過)→
- ③16:00鉄道博物館着(16:50発)→17:20ステラタウン着

## 3月6日(日) 移動ルート

- 13:00ステラタウン集合(14:00出発)
- <県道2号線>→④15:30さいたま市岩槻人形博物館着(16:20発)→
- <県道2号線から国道16号線>→17:30ステラタウン着(18:00解散)

## ADDRESS

- ①さいたま市大宮盆裁美術館  
〒さいたま市北区土呂町2-24-3
- ②鉄道博物館  
〒さいたま市大宮区大成町3-47
- ③さいたま市岩槻人形博物館  
〒さいたま市岩槻区本町6-1-1



## ●メイン会場: ステラタウン

〒331-0802 埼玉県さいたま市北区宮原町1丁目454-1  
集合場所: ステラタウン屋外大階段下スペース

- 電車
  - ・地上鉄道の交通伊奈線・ニューシャトル(4時後迄)下車、徒歩約5分
  - ・JR東北新幹線宮原駅(土呂駅)下車、徒歩約15分
  - ※土呂駅南口から徒歩約10分(バス)のステラタウンまで徒歩約10分
- バス
  - ・コミュニティバス「北宮線西端」北宮西側下車
  - ・JR大宮駅南口バス「上尾行き」上尾駅前下車(北宮西側下車)
- 自転車
  - ・JR大宮駅より北中山道(上尾方面)約13km
  - ・JR宮原駅より北中山道(大宮方面)約13km
  - ・JR大宮駅より北中山道(大宮方面)約13km
  - ※自転車は、安全運転を心がけてください。
  - ※クラッシュヘルメット、安全眼鏡は必ず着用してください。
  - ※このイベントでは、ヘルメットは貸出しておりません。



さいたま国際芸術祭「ガシー」事業

# CART-SAITAMA 2022

2022年3月5日(土)~6日(日)

展示集合場所: 大宮ステラタウン大階段下スペースに13時集結(14時出発)  
走行時は道交法に従い、各会場では、アートパフォーマンスを行います。



## ★出品作家

飯島浩二、市川平、上野雄次、岡本光博、カツパ師匠、ニコニコ山脈、李旭&細井えみか

展示内容についてのお問い合わせ: <http://c-art-japan.com/cart/>

主催: さいたま市 事業委託先: 公益財団法人さいたま市文化振興事業団

プログラムに関する問い合わせ先: SaCLa インフォメーションセンター(公益財団法人さいたま市文化振興事業団)

※白曜・月曜・祝日は休み(月曜日が祝日の場合は翌日の火曜日も休み)

TEL: 048-866-4600

FAX: 048-837-2572

Mail: [arts-festival@saitama-culture.jp](mailto:arts-festival@saitama-culture.jp)

このチラシは3,000部作成し、1部あたりの作成費用は39円(税別)です。



令和3年度 文化庁 文化芸術創造 拠点 形成事業



# CARt

CARtは、自動車本来の目的から逸脱しながらも道路交通法に則したかたちで制作されたアートカーであり、公共空間における美術の在り方を再考させるアートプロジェクトでもあります。複数の展示会場間(拠点と拠点の間)を結んだ線(公道)をキャラバン走行することで、展示会場だけでなく、その道程全てをアート化していく実験的な要素も持ち合わせています。また拠点となる各会場では、公道走行中には不可能なアートパフォーマンスを各作家たちが行います。今回のCARt-SAITAMA 2022では、さいたま市北区の商業施設 ステラタウン大宮をメイン会場に、さいたま市が誇る文化施設 鉄道博物館、大宮益哉美術館、岩槻人形博物館などを巡回します。

## キャラバン 走行順列

- ①岡本光博[覆面パトカー-2]、②市川平[マジカルミキサー]、③上野雄次[新作・暴走花いけ号]、④カッパ師匠[未来へ号]、⑤ニコニコ山脈[デコトラミシン2号]、⑥李旭&細井えみか[対象 - 神社の場合]、⑦飯島浩二[メリーゴーストレイト]



「Merry Go Straight!!」



## 飯島 浩二 Koji Iijima

1973年横浜市生まれ。2011年〜さいたま市在住。1997年武蔵野美術大学工業デザイン学科卒業。1999年文化庁国内芸術インターナショナル研修員。魅力地域の動く彫刻を所いた展覧会やパフォーマンスを国内外で展開し、2007年からは米西を拠点に活動。2011年文化庁在外芸術研修を終えて帰国。主な展覧会は「Wangju Biennale 2004(韓国)」、「2 Festival Arte de la Tierra(メキシコ)」、「さいたまトリエンナーレ2016:ホームベースプロジェクト」など。

### Merry Go Straight!! [メリーゴーストレイト]

高く回るメリーゴールランド。ある日突然、その馬たちが真っ直ぐ走り出したらどうだろう。前だけを見て奔走する馬たち。国家や社会に不利な効果を醸成すると言わんばかりに一日散。今回のキャラバンでは最後尾からCARtメンバーを追いかけるのか、果たして見守るのか、これ如何に?



「マジカルミキサー」



## 市川 平 Taira Ichikawa

1965年東京都生まれ。写真制作家。1991年武蔵野美術大学大学院修了。主な展覧会「TOKYO UNIT LIFE」(スパイラルカーアム、1993年)、「鳥空の響り」(山村画館、1997年)「パオパ・プランテーション」(キリンプラザ大阪、2000年)など。主なグループ展に「知覚の界」(豊田市美術館、2010年)、「鉄道美術館」(岡本太郎美術館、2019年)、「ラブラブショー2」(青森県立美術館、2017年)、「セルフコラージュ展」(英電所美術館、2021年)などがある。 www.taira-ichikawa.com/

### マジカルミキサー

CARt再出発に合わせて、空やグループでも活躍でもない、ただ各々の得意なパフォーマンスが路上に広がり新たな方法を探っている作家達中だ。場所や空間に匹敵しない分、自由度は増すが責任度も増す。気軽に気持ちでは参加出来ない。しかし新たな表現の可能性に挑戦を願う。



「新作・暴走花いけ号」



## 上野 雄次 Yuji Ueno

花道家/アーティスト。1967年生まれ。1986年より華道を学び始め、表現活動開始。華道と彫刻を繰り返す展開は各分野から多様な支持を得ている。コラボレーション多数。2011年より走るいけ号作品「暴走花いけ号」を開始、本作で11作目となる。

### 新作・暴走花いけ号

今回の暴走花いけ号は静岡県豊田市の竹林で採採し、制作したものです。この作品は中に入ることでも、お茶室にも変装致します。風雨中は是非とも、中でおくつるまくださる。



「覆面パトカー (w96 2007)」



## 岡本 光博 OKAMOTO Mitsuhiro

1968年千葉県生まれ。1994年造形大学大学院修了。複数のレジデンスプログラムに参加後、2012年京都にKUNIST AIZTを開設。「天覧美術」(2020)、「Disney美術」(2015)などのキュレーション展、「バツタもん」や「ドクサもん」のように発話のイメージを占有する試み、新作展や表現の自由にかかわる展覧会も積極的に行う。「あいちトリエンナーレ2019 表現の不自由な美術」(その後)、MoA TUE北沢美術館(台北)「見少女の美術史(2019)」、など現在までに国内外の多くの展覧会に参加。

・覆面パトカー(w96 2007)パフォーマンス時 覆面パトカー2(w198 2016)走行時 中にはウツヤニセモノが隠れています。ウツヤニセモノを社会から排除する意図でさえもウツヤニセモノを必要とします。世界中に存在する覆面パトカーもその一つです。カンモノの「覆面パトカー」は「パトカー」が「普通車」を愛しますが、作品の「覆面パトカー」では「普通車」が「パトカー」を愛するという反転が起こります。さらに「覆面パトカー2」(走行時)は「覆面パトカー」を愛う「普通車」です。



「未来へ号」



## カッパ師匠 KAPPA shisho

未来へ号でもこちらにいて、カッパ脱屋をひらいてお茶をのんでいます。

### 未来へ号とカッパ師匠サイン会

今回はお茶をのめないので、カッパ師匠のサイン会がひらかれます。(これはカッパのサインがもらえる感多くないチャンスだ!!) 未来へ号に夢を書いていただけです。



「対象 - 神社の場合」



## 李 旭 + 細井 えみか Asahi Lee + Emika Hosoi

ともに2018年武蔵野美術大学大学院美術専攻彫刻コース修了。2019年「くんかんアート・タウン・プロジェクト」での滞在制作と制作装置を機に、夢を主とした彫刻制作の共同制作活動を開始。ものから生まれる動力や、人が語り出す行為の軌跡を辿り、可視化する。2019年レクリエーション公園(北海道釧路市)開館、2020年会計事務所(東京都千代田区)などに作品設置。

### 対象 - 神社の場合

神社に向かい手を合わせること。この行為によって得られる安堵とインスタントな満足感を、コンパクトにして持ち運ぶことにした。以よりの長くなったそれは、仮設置の中で困難し、姿を見ず目を待つ場所エネルギーを内包したまま、占々とその祈るところを交え人々の目に届かされる。ひよいと持ち上げられては下される。鳥籠の中の小鳥のように。



「デコトラミシン2号」



## ニコニコ山脈 Nikoniko Sanmyaku

磨れない「売れ」欲しくないともちゃん。小瀬拓郎による世紀末ファッションブランド。2011年前編。マキタの電動工具で不要なゴミを削り、社会に必要とされない彫像を作り出す。また、ミシンを駆動させた「デコトラミシン2号」を3号機まで開発。閃光と爆音を巻き起こしながら世界平和の実現に向けて活動中。

### デコトラミシン2号

ミシンと軽トラックが電動融合した夢型型造りファッションシステム。コロナ禍での移動販売を可能にするため、大切なお客様に消毒液を噴射し、爆音と閃光でソーシャルディスタンスを確保する感染防止対策機能を搭載。ウイルスと共に人類を駆逐していく。晴風のコロナパンミック時代に終わる。